

二〇〇五年度 &エコ倶楽部探検隊 水源地クリーンキャンペーン

高松市上下水道工事業協同組合青年部会

- 担当役員 中井真司
- 実施日 平成17年11月26日(土)
- 参加者 62名【高松市水道局員36名 青年部会員16名 その他地元住民等10名】

我々、高松市上下水道工事業協同組合青年部会は今年度末で3年目を迎えるまだ若くて未熟な会です。

初年度は、顔を合わせるのも初めて、勿論話もした事のないような会員さんも居て何をやるにしてもうまくまとまらない時もしばしばあったけど、そこはみんな現場で養ってきた協調性と応用性がきく集まりだったので役員を筆頭にあらゆる事業を遂行してきました。今回のようなボランティアは昨年、親組合を通じて高松市水道局から話があり、参加するようになりました。

最初に聞いた時は『え～池の掃除!?!』って、誰もが口を揃えて愚痴っぽくもなっていたのが正直なところでした。

昨年は夏の渇水時に全国的に有名になった早明浦ダム(高知県)の清掃ボランティアを水道局が一般応募で参加者を募っていたので、安易な気持ちで話を進めていたのですが、毎年バスの都合もあり、結局我々は行く事ができませんでした。そこで、早明浦ダムに代わる水源地として地元の池に行きました。時期的に忙しいにもかかわらず青年部会員16名、水道局員、地元の方々が集まり、総勢60名程が集まりました。



「はじめに」水道局員、青年部、その他多数の参加を得て水源地クリーンキャンペーン&エコ倶楽部探検隊に取組む事が出来ました。

池の水を抜いている事もあって、そこで目にしたのは自転車を始めとするありとあらゆるゴミでした。ビニール袋を片手に軍手を着用し、各々が池の周辺や水辺をローラー作戦並みに清掃していったのですが、なんと午前中で収集する事3時間、“2tダンプに5車ほど!!”が収集できました。

普段なにげなく池の横を通っているのに全く気付く事もなかったため、その量の多さとゴミの種類にみんな驚きを隠せなかったのと大切な水源地をみんなの力で保護したという充実感が胸一杯になりました。

今年度は、水道局に対しても実績があったので夏くらいから依頼もあり我々も快く引き受けました。昨年の件もあり、早明浦の件も聞いてみたのですが、やっぱりダメでした…。

今年は、清掃する池の順番が変わっていたので場所は違っていました。昨年同様の大勢の会員に集まってもらう事ができました。昨年経験している人は口々に『今日は、どれくらいのゴミがあるだろう?』と、少々不安な気持ちを持ちながらも4班に分かれて収集に取りかかりました。そこで見た光景は、あまりにもきれいな池の姿でした。いざ収集を始めても昨年のような事はなかったのですが普段できない場所のゴミも収集する事ができました。中には車のタイヤが何個も水際に漂っていたり、沈み込んでいたりもしましたが、周囲の方と安全を図りながら膝下まで池の中に入って行き、見事に回収する事ができました。

このボランティア清掃を通じて会員一人一人の協調性と水源地に対する感謝の念を高めることができ、そして水資源の大切さを肌で実感しました。また今回のボランティア事業を通じ、水道局に対する信頼を得た事は今後活動をしていく上でもすごくいい経験になり、これから入会しようとするもっと若い人達への橋渡しもできたと思います。

今後もこのような活動を続けていき、ため池の多い香川県だから分かる事、大切な水資源を護っていく事がどれ程大切な事を後世に伝え、残し続けていければと思います。



「活動状況」水位が減少している事もあり、水際に沢山のゴミがありました。時期的な面も良く、池の周囲の雑草も枯れていて、ゴミを見つけやすかったです。それにしてもいつもは気付かないけど、あるものですね。ゴミって。



「収集成果」4グループに分かれて収集したうちの1グループだけでこれだけのゴミが集まりました。他のグループも同等以上の収集成果で、回収作業が大変なくらいでした。



「水辺に遊ぶ生き物」水辺に遊ぶ生き物を狙っているおじさんです。釣果はいかほどに…?綺麗な水があってこそその生態系ですね。